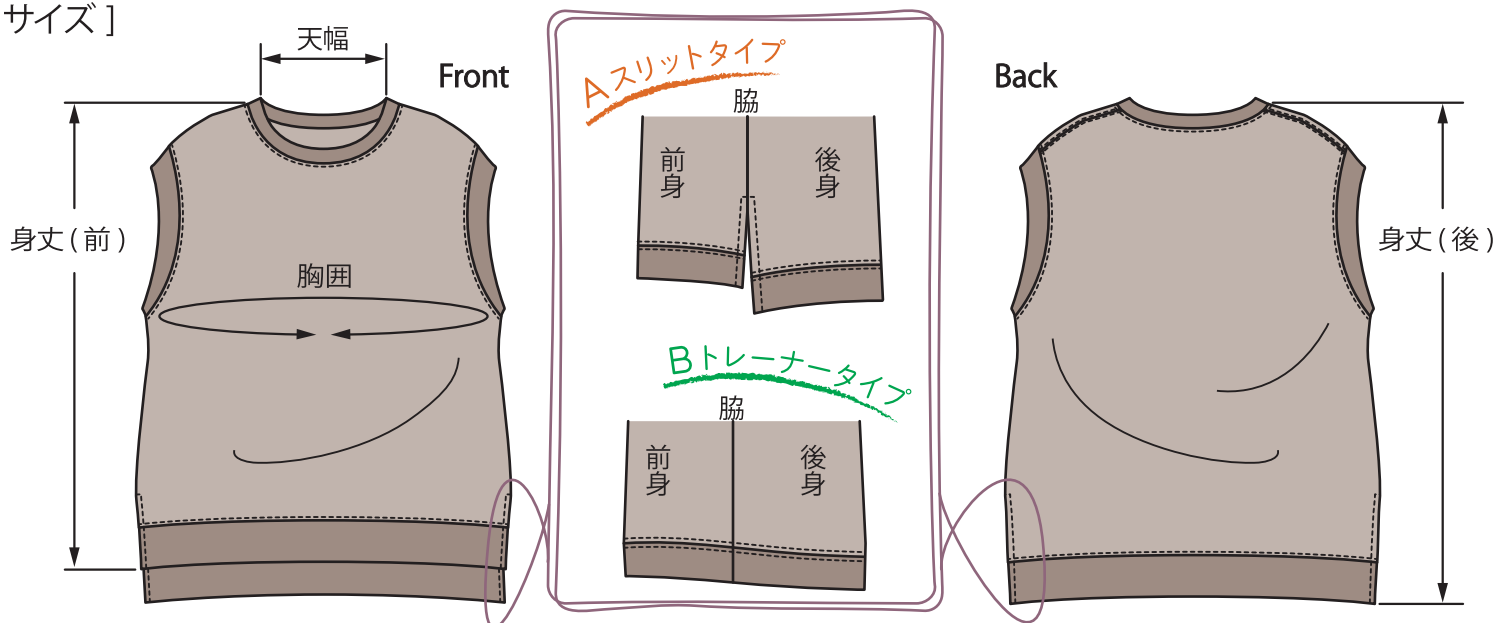


少しルーズなサイズ感が可愛いカットベストです。
 裾のスリットはお好みにトレーナータイプにアレンジ出来ます。
 こまめにアイロンで形を整えながら作ると上手に仕上がります♪

[サイズ]



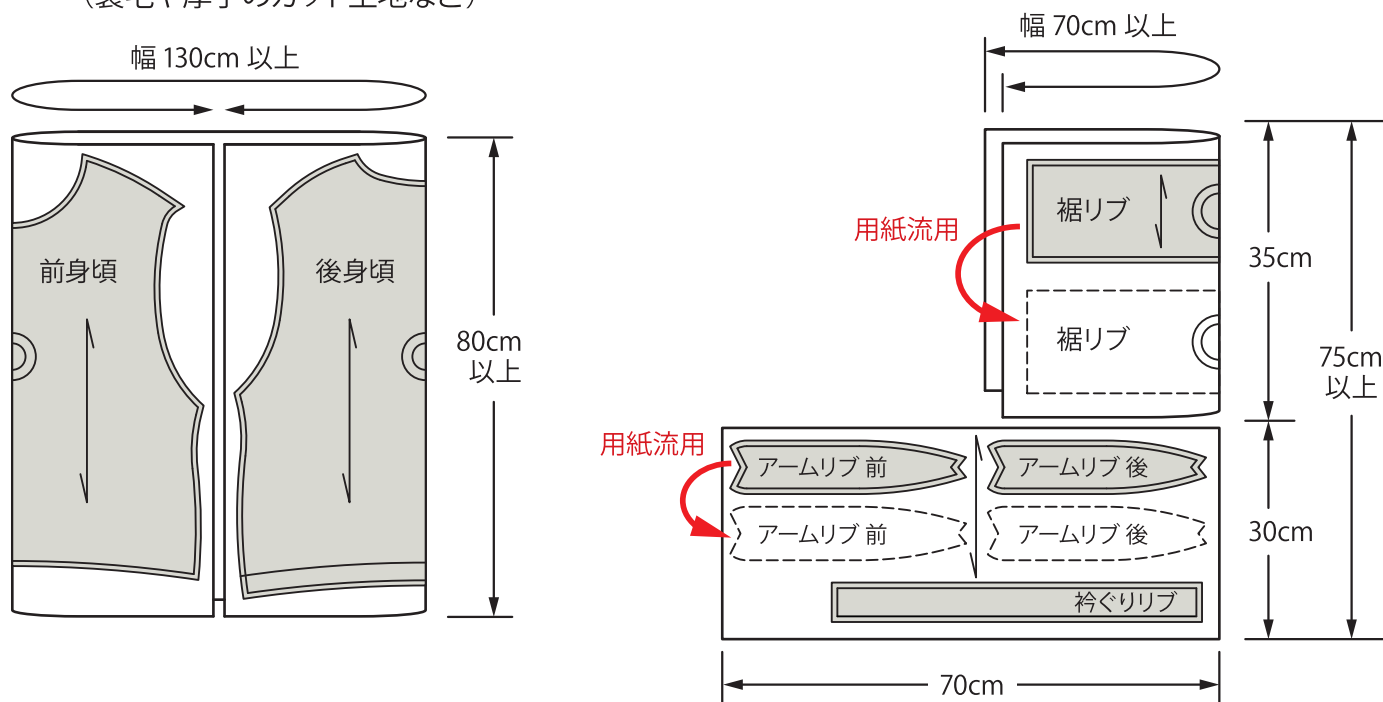
およその仕上がり寸法 (cm)

サイズ	着丈(前)	着丈(後)	胸囲	天幅
M	65	70	113	17.5
L	68	73	116	18.5

[材料]

本体… トレーナー素材
 (裏毛や厚手のカット生地など)

首周り・袖口・裾… スパンフライス、スパンテレコなどのニットリブ



※生地により幅寸法が異なります。

※柄合せが必要な場合や、生地により水通しで縮む場合が御座います。
 材料は余裕をもってご準備下さい。



ロックミシン

布端の始末。
重ね複数枚の同時縫い合せ。



ピン・合印

縫い合わせる生地どうしの
合せ位置。
パターン上の印 参照。



アイロン

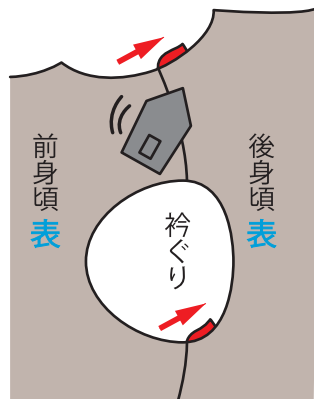
縫代のしつけ、
折り目の成形などに使用。
※あて布を使いアタリ・色焼に注意しましょう。

1 身頃 肩線を縫い合わせる ※下記①～⑤工程×2 (肩線 左右分作成)

①前後の身頃布を中表に重ね、左右の肩線を縫代 0.8cm 幅でロックミシンで縫い合わせる。

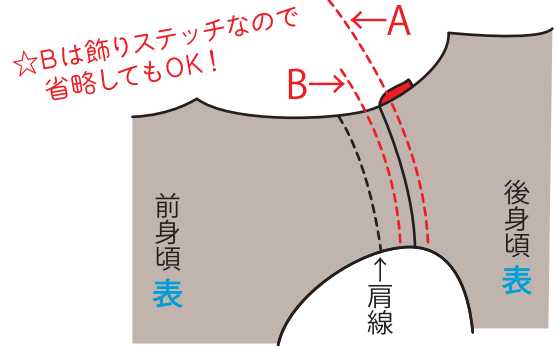


②縫代を後身頃側に倒し表返す。

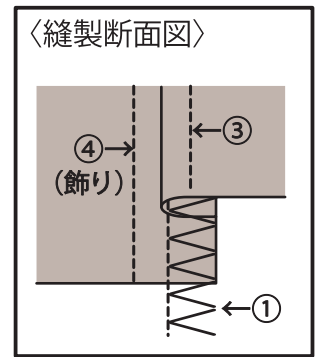
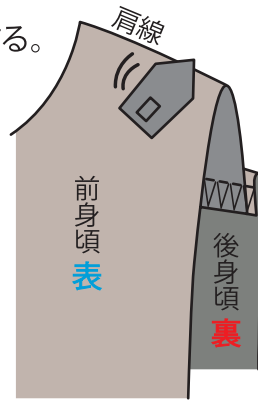


③ステッチAで縫代を押さえ付ける。

④ステッチBを入れる。



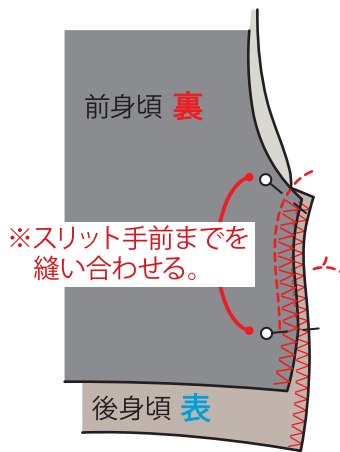
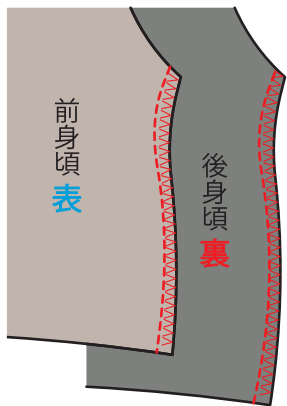
⑤肩線をアイロンで型付けする。



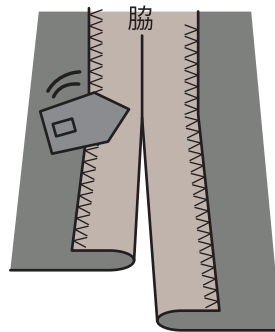
2 身頃 脇線を縫い合せスリットを作る / 裾タイプA

※下記①～④工程×2 (脇 左右分作成)

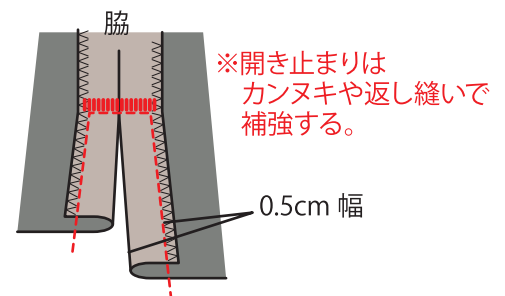
- ①前後見頃布の脇をそれぞれ別々にジグザグ始末する。
- ②中表に返しスリット手前までを縫代 0.8cm 幅で縫い合わせる。



③縫代割ってアイロンで仕付けする。



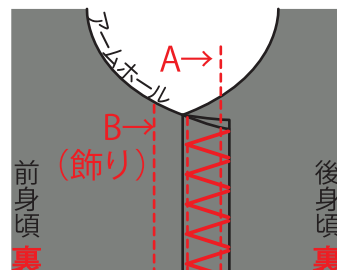
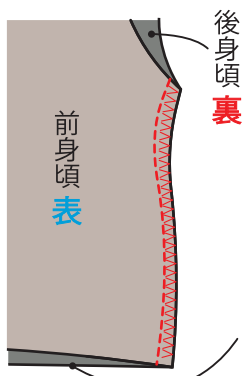
④スリット開き部分を
0.5cm 幅で縫い押さえる。



2 身頃 脇線を縫い合わせる / 裾タイプB

※下記①～④工程×2 (脇 左右分作成)

- ①身頃布を中表に重ね、脇線を縫代 0.8cm 幅でロックミシンで縫い合わせる。
- ②縫代を後身頃側に倒し表返す。
- ③ステッチAで縫代を押さえ付ける。
- ④ステッチBを入れる。

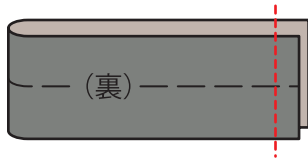


※裾タイプBのパターン線を使用

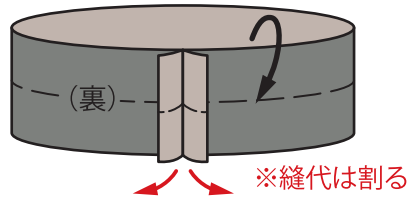
3 衿ぐりリブの作成と取り付け

[衿ぐりリブの作成]

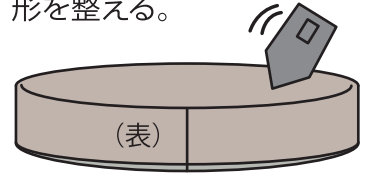
①中表に輪を作り、端を縫代 0.8cm 幅で縫い合わせる。



②外表側に折り返す。



③アイロンで仕付け形を整える。

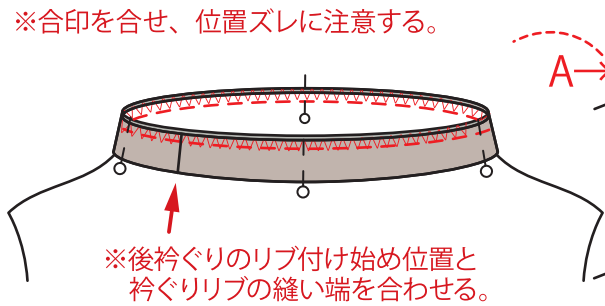


[衿ぐりリブの取り付け]

④身頃布表側の衿ぐり線に沿ってリブを縫代 0.8cm 幅でロックミシンで縫い合わせる。

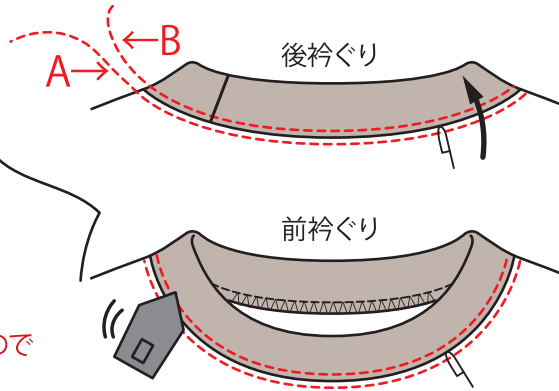
⑤縫代は身頃側に倒し、衿を立ち上げる。Aのステッチで縫代を押さえつけ、B飾りステッチを入れる。

※合印を合せ、位置ズレに注意する。

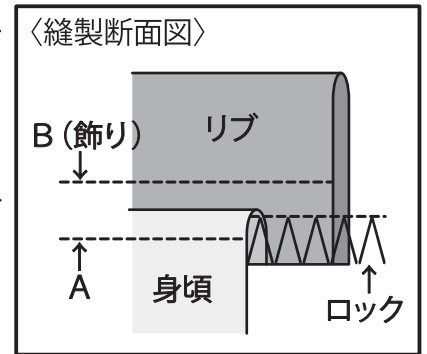


※後衿ぐりのリブ付け始め位置と衿ぐりリブの縫い端を合わせる。

※衿ぐり寸法に対しリブは短くなっているのでもリブを伸ばしながら縫い合わせる。



☆Bは飾りステッチなので省略してもOK!

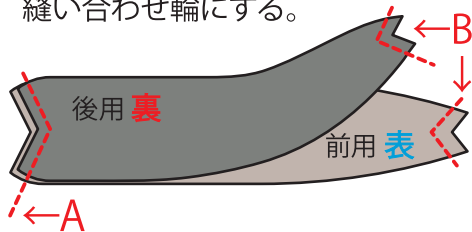


4 アームリブの作成と取り付け

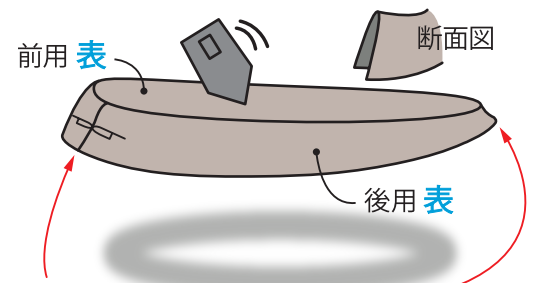
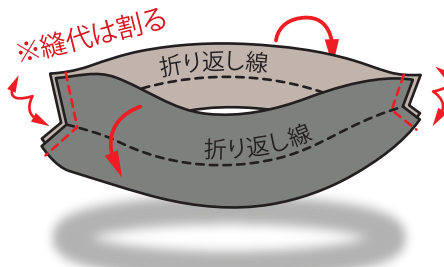
※下記①～④工程×2 (アームホール 左右分作成)

[アームリブの作成]

①前後のアームリブを中表に重ね、赤点線A・Bを縫代 0.8cm 幅で縫い合わせ輪にする。



②輪の状態から折り返し線に沿って2つ折り返し表返す。

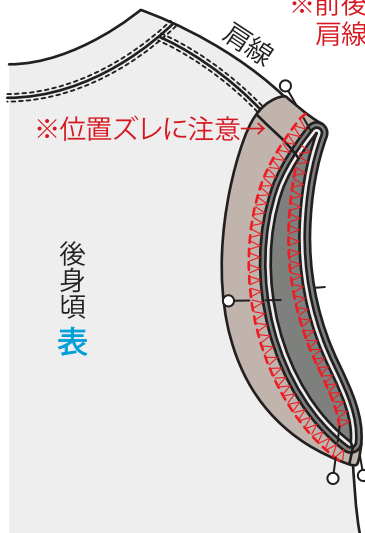


※はみ出た余分な縫代はカットする。

[アームリブの取り付け]

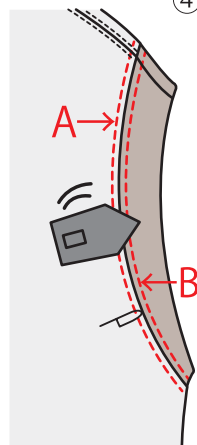
③表の状態の身頃布アームホールにリブを沿わせ、縫代 0.8cm 幅でロックミシンで縫い合わせる。

※前後身頃の切替位置とリブ切替位置を合せ、肩線や合印をピン留めしてリブの伸ばし幅を均等に振り分ける。

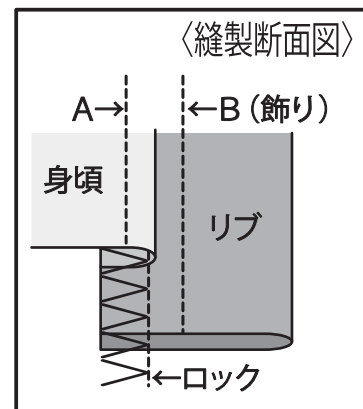


※位置ズレに注意

④リブを表返し、縫代は身頃側に倒す。衿ぐり同様 Aのステッチで縫代を押さえつけ、B飾りステッチを入れる。



☆Bは飾りステッチなので省略してもOK!

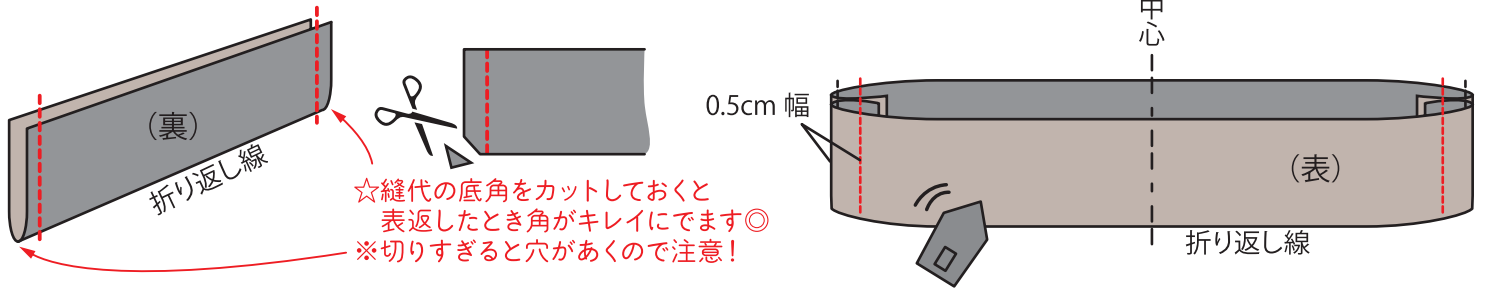


4 裾リブの作成と取り付け / 裾タイプA

※下記①～④工程×2 (裾前後分作成)

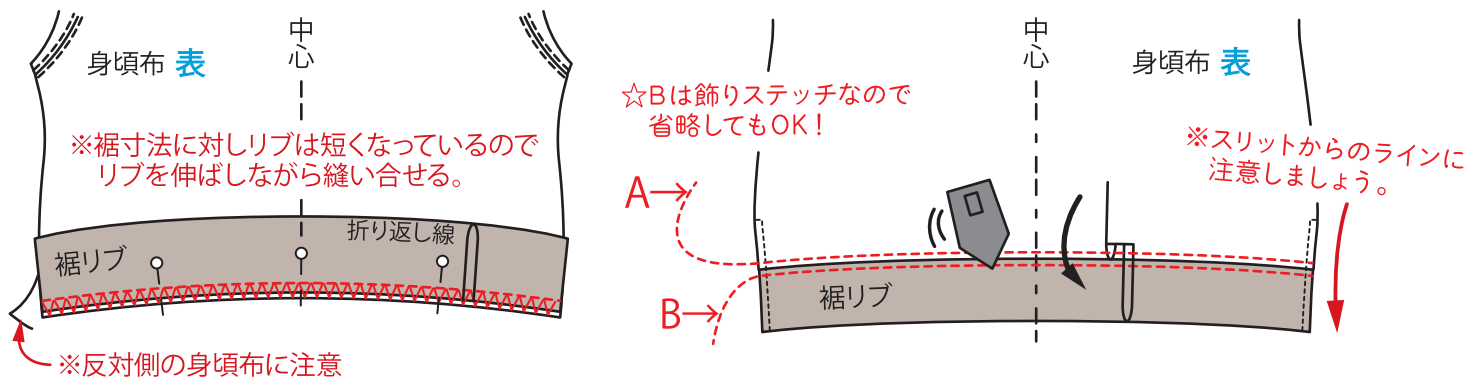
[裾リブの作成]

- ① 折り線に沿って中表に二つ折りにし ② 袋を返すようにリブを表返し、両端を 0.5cm 幅押さえステッチで
 両端を縫代 0.8cm 幅で縫い合わせる。 内側にある縫代を押さえ付ける。



[裾リブの取り付け]

- ③ 身頃表側裾線に裾リブ開いた側を沿わせて重ね ④ リブを表返し、縫代を身頃側に倒す。
 縫代 0.8cm 幅でロックミシンで縫い合わせる。 Aのステッチで縫代を押さえつけ、B飾りステッチを入れる。

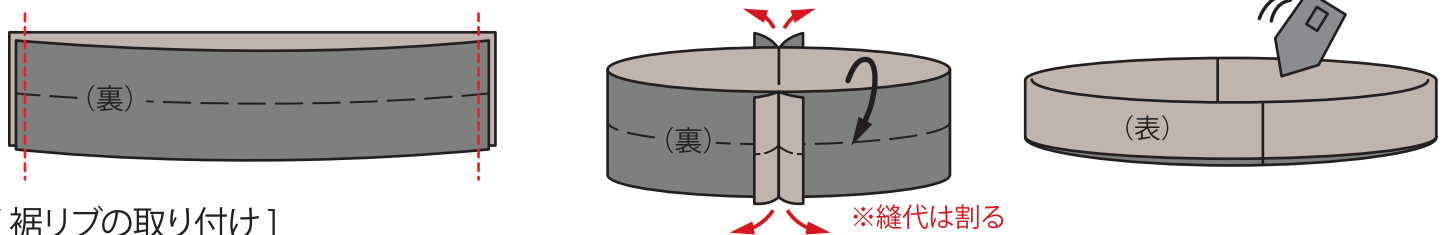


★★全体の形を整え完成です★★

4 裾リブの作成と取り付け / 裾タイプB

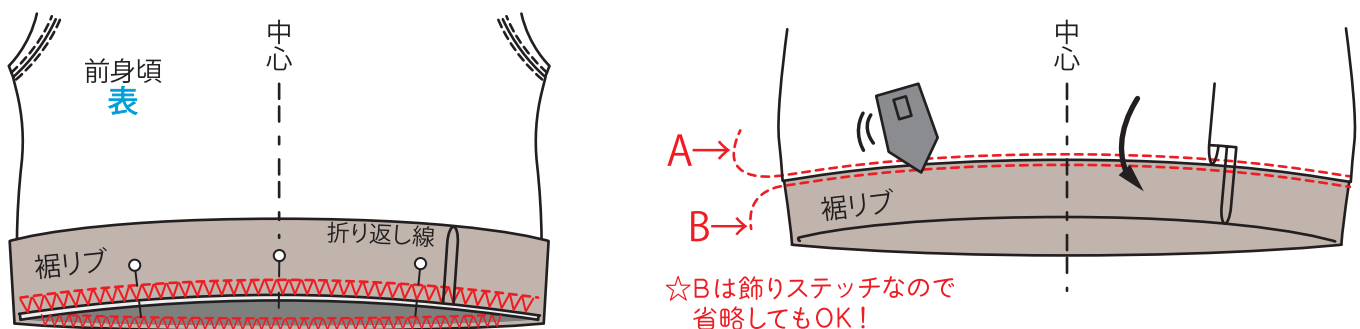
[裾リブの作成]

- ① 前身用と後身用を中表に重ね、 ②③ 衿ぐり用と同様に外表側に折り返し
 両端を縫代 0.8cm 幅で縫い合わせる。 アイロンで仕付け、形を整える。



[裾リブの取り付け]

- ③ 身頃表側の裾線に裾リブ開いた側を沿わせて重ね ④ リブを表返し、縫代を身頃側に倒す。
 縫代 0.8cm 幅でロックミシンで縫い合わせる。 Aのステッチで縫代を押さえつけ、B飾りステッチを入れる。



★★全体の形を整え完成です★★